



西之表

市政の窓

第335号／平成2年8月1日発行■発行／鹿児島県西之表市役所■編集／総務課秘書広報係 ☎②-1111



祭りだワッショイ

帆船マカウ号とフ・コン舞踊団が華を添えて

第21回種子島鉄砲まつり

夏休み最初の土日、第21回種子島鉄砲まつりは快晴の下で盛大に開催されました。今年は、帆船マカウ号が来島した他、フ・コン舞踊団などポルトガル・マカオ関係者61人が親善訪問。うち9人のホームステイが実現するなど国際親善イベントとしての色あいを濃くした花も実もある祭りとなりました。

日ポ交流の地
花と香りの
ロマン島

1990 8

8月の行事予定

- | | | |
|--------|-------------------------------|----------------|
| 5日(日) | 市内一斉クリーン作戦 | (市内一円) |
| 17日(金) | 体験学習会(史跡めぐり) | (午前9時～・市内一円) |
| 18日(土) | 舞台芸術鑑賞オーケストラ
KTS室内交響楽団(有料) | (午後7時～・市民会館) |
| 19日(日) | 第14回中高生スポーツ大会 | (午前8時半～・市民体育館) |
| 20日(月) | 第2回市ふるさと「少年の主張」発表大会 | (午後2時～市民会館) |
| 23～25日 | 長浜市スポーツ少年団交流会 | (午前8時半～・島内一円) |
| 26日(日) | 第1回レクリエーションの集い | (午前9時～・市民体育館) |

第2・第4土曜日、8/11・8/25 市役所業務はお休みです

ポルトガル共和国に視察団派遣



六月十五日から二十五日までの会期で開かれた平成二年第二回市議会定例会の冒頭で榎本市長は「鉄砲伝来四五〇周年の平成五年までに、ポルトガル共和国内に友好都市を選定、盟約を締結し、視察団を送りたい」と国際交流への意欲を表明しました。

第二回市議会定例会の初日の六月十五日、榎本市長は、まず、六月八日の大雨による被害状況を報告し、被災者にお見舞いの言葉を述べた後、次のように所信を表明しました。

市長「所信表明」要旨

▽ロマン島構想について
さきの第一回定例会において第三次長期振興計画を承認していただき、来るべき二十一世紀へ向け「日ポ交流の地・花と香りのロマン島」構想のもとに「人情豊かな明るく

力強いふるさとの創造」づくりを目指しスタートしたところ。今後、更に市民各位、議員皆様のご協力をお願いします。

▽ポルトガル共和国との交流について
一九九三年、平成五年は鉄砲伝来四五〇周年という節目の年です。日本政府ならびにポルトガル共和国政府の理解とご支援のもとに、日ポ友好記念行事実行委員会が発足し、着々とその実行プログラムが作成されつつあります。当然本市としても、委員として参加いたします。

また、平成五年までに友好都市盟約を締結し、更に、同年までに、行政・一般および青少年等合同による視察団をポルトガル共和国に送り、日ポ友好四五〇周年記念に向けて、その実を上げるべく計画準備を進めて参りたい。

▽西京畑総事業について
同事業安納地区の通水式が五月二十日行われており、今後は、現和地区、上西横山地区を進めて参ります。また、水利利用の推進を図りながら地域に適した作物作りをすす

め、生産性を高めて参りたい。

▽平成元年度決算見込み
本市の平成元年度一般会計および特別会計の決算見込み(五月末の出納閉鎖時)は、

歳入総額一四億七、四七五万六千円に対し、歳出総額は一一億二、七七八万八千円で、その差額二億四、七五六万八千円から次年度に繰り越すべき財源六二八万二千元を差し引いた実質収支額は二億四、一二八万六千円になる見込みです。

税政の抜本的改革による消費税の導入、国庫補助負担率の恒久化など、自主財源に乏しい本市にとって厳しい平成元年度でしたが、全ての会計で黒字決算となり、予想以上の結果を見ることができました。今後、更に財源確保に努め、限られた財源の中での節度ある財政運営に努めて参りたい。

請願・陳情書の結果

今回の定例会に新規に提出された請願、陳情書は六件で審査の結果は次のとおりです。

採択

○食糧と環境を守り、日本農

林業のためにコメの市場開放
農産物・木材の輸入拡大に反対する請願書。
○米市場開放阻止に関する請願書。
○わが国農業・農村の将来展望と米穀政策・価格対策の確立に関する陳情書。
○種子島スリーブライトリ

ゾート計画の推進について。
不採択
○ゴルフ場建設同意書の撤回にご尽力を。
○国上 久保田地区を該当地とするリゾート開発計画(ゴルフ場中心)に関して絶対に反対する陳情書。

市人事異動

市は、七月一日付で、市職員の人事異動を発令しました。その内容は、次のとおりです。(◎印は昇格)

職員名 新所属 (旧所属)

◎牛野 修 教育委員会総務課長 (教育委員会総務課長)

種子島時治 教育委員会総務課長補佐兼庶務係長 (税務課長補佐兼固定資産税係長)

榎本義一郎 税務課長補佐兼固定資産税係長 (保険衛生課長補佐兼衛生係長)

◎岩坪 鉄男 保険衛生課長補佐兼衛生係長 (企画課統計調査係長)

能野大三郎 企画課統計調査係長(税務課主査) 市民課主査(福祉事務所児童福祉担当主査)

樽谷 勇 福祉事務所主査 (福祉事務所身体障害者福祉担当主査)

小牧 鉄則 福祉事務所主査 (福祉事務所身体障害者福祉担当主査)

加藤 進一 税務課 (市民課)

新規採用(平成二年七月一日付採用)
下田 英二 福祉事務所
退職者(平成二年六月三十日付退職)
笹川 洋 (教育委員会総務課長)



十月一日(月)は国勢調査の日

調査票配布は九月下旬

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。

この調査は、大正九年から五年ごとに行われ、十五回目に当たる今回は、特に二十一世紀の日本を考える基礎づくりという重要な意味があります。

調査結果は、国や都道府県・市区町村が、これからの行政を考えていく大切な資料となり、わたしたちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。

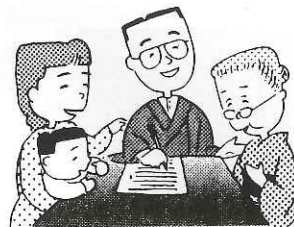
赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての方が調査の対象となります。

九月下旬に、世帯ごとに調査票を配布します。アパートなどに一人暮らしの方、下宿している方は、未成年でも学生でも、世帯主としてご記入ください。

調査票にある質問は二十二項目。お答えいただいた内容を統計以外の目的に使用することは、法律で固く禁じられています。ご安心のうえ、ありのままをご記入ください。調査票は後日、調査員が集め

にうかがいます。外出しかな方は家にいらつしやる日をお伝えください。

十月一日の国勢調査。皆さんの協力をお願いいたします。



父子手当・児童扶養手当の申請を

父子手当

本市では、父子世帯児童の心身のすこやかな成長をはかるため、父子手当を支給しています。

▷対象者：母のいない中学生以下の児童を監護している父で、8月1日現在本市に住所を有する者

▷手当の額：児童1人の場合 12,000円/年
" 2人目以降1人 3,000円/年

▷申請方法：8月末日までに福祉事務所へ

児童扶養手当

父と生計を同じくしていない児童の家庭生活の安定をはかるため、児童扶養手当が支給されます。

▷対象者：18歳未満の児童（障害児については20歳未満）を監護している母又は母に代わって児童を養育している者

▷手当の額：児童1人の場合 35,910円以下/年
" 2人" 40,910円以下/年

※昭和60年8月1日以降に支給要件に該当する者で、5年を経過すると請求権がなくなりますので、該当する方は至急申請してください。

〈問合せ先〉民生委員又は市福祉事務所児童係まで

西之表市職員採用試験

○試験期日…平成2年9月30日(日)

○受験資格…平成3年4月1日現在で25歳未満の者

※詳しくは、「市政の窓」9月号(次号)に掲載します。

※問合先：市役所総務課職員係(2-1111内線205)

7月の市長動静



アナ・ゴダス女史が市長を表敬訪問

- 2日○市さとうきび生産振興会総会
- 4日○市サンライフ推進協議会総会
- 県消防協会熊毛支部消防操法大会
- 5日○'90ミス種子島認定証授与式(南種子町)
- 6日○県宇宙開発促進協議会総会(鹿児島市)
- 10日○熊毛地域農政企画推進協議会総会
- 14・15日○県体熊毛地区大会(上屋久町)
- 17日○九州地区漁港大会(佐賀県唐津市)
- 21・22日○第二十一回種子島鉄砲まつり
- 24日○県港湾協会総会
- 30日○熊毛地区水産振興会総会(鹿児島市)

市長 市庁舎建設に思う

随想
市民の皆さんのアンケート等の結果を踏まえ、第三次長期振興計画を平成元年第四回市議会定例会(十二月)にて決定、平成二年度より十年間の西之表市行政の基本構想を示した所でありました。

その中で、市庁舎建設を平成五年度より開始したいとの計画もいたして、これを進める為に七月十一日、西之表市庁舎建設検討委員会を市民代表十五名の方々にお願いし設置いたしました。

今後、建設場所、建設の方法等ご検討いただく訳であります。その実施に当たっては、市民福祉行政の施行に停滞がないよう配慮すべきでありましょう。又、議会でも独自に特別委員会を設置、検討いただくことになっております。庁舎とは、主権者である市民が首長、議員等その他を選ん、市民のために行政をやらせる建物であります。すなわち、庁舎は市民のものであります。

自治体の庁舎は、行政を営むという事だけの機能をもつだけのものではなく、市民の共同体としての拠り所であり、すなわち、市民が親しみ、尊び、誇りに出来る庁舎でなければなりません。

必然的に、それに従事する職員は、市民に信頼される職員とならなければなりません。

庁舎は「市民自身の持ち物であり、市民のために存在するもの」という基本理念を忘れてはならない。建設にあたっては、市民皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。(七月十六日 榎本修)



喜寿

井元正流前市長の喜寿をお祝いする会が五月二十八日、ホテル荒木本館で行われました。主催した市役所OB会を代表して荒木政雄さんは「市長経験者が七十七歳を健やかにお迎えになったときに開催しており、井元先生は、故西村健夫元市長につづく二人目。ますますお元気で活躍いただきたい」と挨拶。

井元正流氏は、昭和四十八年から昭和六十三年の三期十二年市長を歴任しており、お祝いに集まった市役所OB、現役職員七〇名余りは、井元ご夫妻と思いの出の一コマ一コマを懐かしみ、遅くまで談笑していました。



藍綬褒章

上妻宗正氏藍綬褒章受章祝賀会が六月十六日、種子島観光ホテルで開催されました。発起人代表の芝倉さんは「市議会議員十一年、県議会議員十四年の永きにわたり公共の福祉、地方自治発展に貢献されたことが受章の理由。先生には、今後とも、明るい郷土づくりに頑張ってもらいたい」と述べ、これに応えて、上妻氏は「私は七人兄弟の末っ子。私が小四のとき父は亡くなった。地域の方々に母がお世話になった分以上に世の中にお返しをしたいと活動してきた。これからも、市民のため、地域発展のために尽くしたい」と語りました。

本市における藍綬褒章受章者は上妻氏が五人目で、実に十八年ぶりの受章。



農業で生き残るための

水が来た



超早掘カンショ栽培もスタート
(日高実範さん、安納地区)

安納地区で 畑地かんがい通水式

平成元年度、県営畑地帯総合土地改良事業西京地区として進められていた安納地区畑

かん工事が完了し、五月二十日、同地区ほ場で通水式が行われました。

通水式には、市畑地かんがい推進協議会長の榎本市長をはじめ、古市吉男熊毛支庁長、白河輝彦市議会議長ら関係者と受益者多数が出席。神事のあと、受益者代表の芝拾次さんが給水栓を開放。ほ場に設けられた大型散水機から水が勢い

よく飛び出すと同時に、受益者の手からは、新しい農業への期待が込められた数百の風船が空に舞い上りました。

また、安納小学校体育館に会場を移して行われた祝賀会では、日高敏則校区長が「安納の中心は農業であり、農業を振興することが校区の発展につながる。そして、農家が農業で生き残るために不可欠なものは水であると確信している。水を高度に利用する営農に励みましよう」と力強く挨拶しました。

祝賀会では、安納大平婦人部が「農業の発展を祈念して」と題した寸劇も披露。「雨が降らんでも、水の心配もなつかから、いろいろ、いっぱい作ってみらんばやなあ」「わあっち、ぜんもいはいばつて、ありがたか世の中やなあ」。笑いを誘う中にも、「なるほど」と考えさせられる場面も多々。

安納地区の受益農家数は約一六〇戸。受益面積は一部庄司浦を含めて一七〇畝。

同地区では、昨年から水を利用した超早掘カンショ栽培も始まっています。

第15回親子交歓大会

今年十五回目を迎えた市スポーツ少年団親子交歓大会は六月十日、国上小学校グラウンドに親子約一千人を集め、盛大に開催されました。

プログラムは「陣つき」「ムシロ引き」などユニークでしかも、親子混成での競技がほとんど。親子ふれあいの楽しい一日を過ごしていました。

また、午後の競技の前には恒例となった文化活動発表も行われ、国上スポーツ少年団による「花踊り」(市指定無形文化財)が披露されました。

数ある種子島の踊りの中でも、最も優雅な踊りとして知られる「花踊り」を伝承する子供たちに惜しみな拍手が送られていました。



心のふれあい活動(わかさ園)の

青少年ふるさとセミナー

地域に根ざす青少年育成事業の一環、平成二年度地区青少年ふるさとセミナーが六月十日、市民会館で行われました。

異年齢集団による社会参加活動を通して、ふるさとづくりの地域リーダー養成をはかろうと開催されたこのセミナーに参加したのは、島内の中高生、青年の七十人。

講話、体験発表のあと、特別養護老人ホームわかさ園に会場を移し、入園者との心のふれあい活動を実施。青年団の一人は「異年齢集団による交流はめったにできない。今後の活動に生かしたい」とセミナー参加の成果を語っていました。



ダルマに目を入れる山本社長(左)

メンズ・コスモ種子島

完成品初出荷

本市の誘致企業、紳士服メーカー(株)メンズ・コスモ種子島の完成品初荷式が六月二十五日行われました。

同社は、昨年十一月十八日、本市と土地協定を結び、上西池之久保の仮工場で今年三月に操業を開始し、これまで、社員の技術研修と並行して、パーツ生産を進めていたもので、完成品の出荷は今回が初めて。

初荷式に参列した榎本市長や市議会議員を前に山本秀夫社長は「完成品八十九着の初出荷先は大阪の大手商社。種子島の素晴らしい自然の中で、全国どこに出してもはずかしくない製品づくりに努めながら、地元の方に心から親しまれる会社づくりまい進し、三年後には年間十萬着、年商十億円の企業にしたい」と抱負を語りました。



シリーズで紹介する長期振興計画。七回目は、第三章「市民生活の充実とうるおいのある環境づくり」のうち第三節「住宅、生活環境の整備」、第四節「環境の保全」、第五節「防災体制の整備」について。

住宅・

生活環境の整備

快適で文化的な定住社会を形成するためには、良好な住宅、生活環境を確保することが重要です。

市民の生活水準の向上に伴い、住宅に対する欲求は質的に高まることが予想されるため、これに対応しつつ、防災面にも十分配慮しながら、次の施策を講じ、住宅、生活環境の整備を促進します。

一、明るい住まいづくり

①民間では、所得水準の上昇に伴い質の高い住宅建設が行われていますが、より充実した高水準の居住環境の実現に向けて、行政側からより一層の協力、助言等を積極的に行います。

②公的住宅は、そのほとんどが狭小で老朽化しており、ニーズに対応できない状態であるため、現在策定中の「西

之表地域住宅計画」に基づいて、高齢化社会にも対応しうる住宅建設を計画的に進めます。



③花と香りにつつまれた心豊かな居住環境を形成するため「花いっぱい運動」等、市民によるまちづくり運動を育成しながら環境整備を進めます。

④市街地にあつては、過密不良住宅地区の解消をはかるため、都市計画法や建築基準法の活用により、住宅の不燃化、中高層化、オープンスペースの確保等を促進し、う

るおいに満ちた住環境の実現を目指します。一方、大字地区においては、豊かな自然を十分に生かした緑豊かな住環境の実現を目指します。

二、快適な生活環境づくり

①上水道事業は安定給水の確保のため、計画的な施設整備を進めます。

②簡易水道事業は未給水区域の解消のため広域的給水施設の新設をはかります。

③各集落経営の小規模水道においては、水質の保全、施設の改善等の指導に努めます。

④ごみ処理については、民間に委託している収集業務の体制を更に充実させます。

⑤ごみ焼却施設や不燃物埋立処分地の適地検討を進め、併せて不法投棄の監視と指導体制を強化します。

環境の保全

市民が健康で快適な生活をおくるには、自然と調和のとれた良好な環境を確保することが必要です。将来にわたる明るく、豊かな文化生活を営むため、次の施策を講じて環

境の保全に努めます。

一、公害のない環境づくり

①事業者および市民の環境保全に関する認識を高め、自然環境の保全、公害防止をはかります。

②河川や海水の汚濁の原因となっている工場等からの排水については、施設整備を指導します。



③公害発生源対象施設の定期巡回を実施するなど、監視、指導体制を強化して、公害発生の未然防止に努めます。

二、すぐれた自然環境

の保全

①自然環境保全のため、秩序ある開発が行われるよう各種

関係団体と連携して適正な環境保全に努めます。

②かけがえのない貴重な自然資源の保護をはかるため、学校や地域社会において自然保護教育を推進します。

③河川、海岸、海浜および公園等の美化清掃を計画的に実施するほか、海面環境の保全に努めます。

④ウミガメを保護するため、主産卵地に立看板を設置するほか、広報紙「市政の窓」への掲載等により、保護思想の普及および県条例制定の周知徹底をはかります。また、ウミガメ保護監視員による主上陸産卵地区の状況調査や保護監視を行います。

防災体制の整備

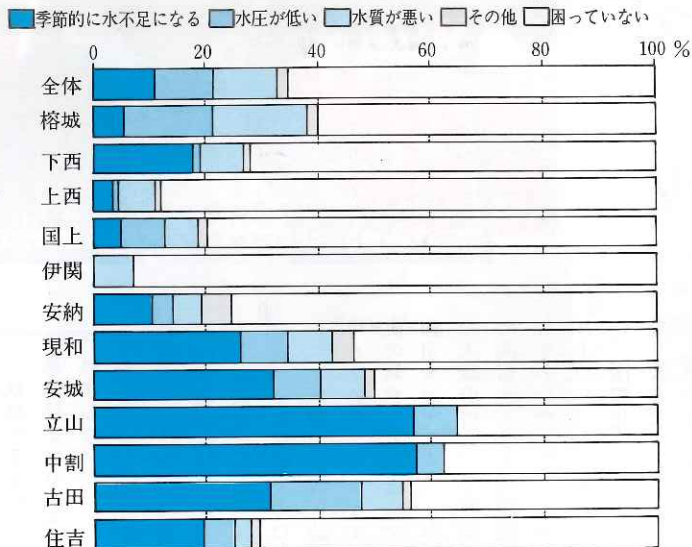
市民の尊い生命と貴重な財産を守り、日常生活の安全性を確保することは、定住社会を形成していくうえで重要であり、次のように防災体制を整備します。

一、防災対策の充実

①風水害や地すべり、山崩れ災害等を防止するため、治

Q47 あなたが現在、飲料水で困っていることは何ですか。

(1,321人回答)



私たちの村づくり方策⑥ 立山校区



立山校区長
前園 盛義さん

立山校区は六つの集落からなり、九十世帯、二百十二名の人口で、耕地面積七十八町歩、農家数が六十七戸の小校区である。
産業の中心は農業であり、その傍らで漁業を営んでいる。風光明媚・野山の自然には恵まれた里でもある。
現在、立山校区では、一つの運動が起きている。それは

「二十一世紀に向けての展望をもち、今後の立山校区の村づくりをどうするか。」の課題である。
そこで、六月三十日(土)、校区の各種団体の責任者と市長さん、各課長さん、農協長さん、外二名の総勢十二名の参加を得て、「二十一世紀に向けての、村興し」を語る」会を開催し、貴重な指導助言を得ながら盛大にそして有意義に語り合いができた。
語り合いの内容は、①婦人会の組織づくり、②農道の整備、③今後の農業経営について等であった。
「村興し」には、婦人会の組織づくりが必要であること

の認識。また、農業経営は、和牛と園芸に力を入れることなど、今後の農業経営の方向が示されたようである。このことを基にして区民一体となり村づくりに努力したいと思っている。
尚、漁港も二十一世紀を迎えるまでには完成をみることに思っているので、農業と漁業を抱き合わせた生計のもとで語り合いの場を幅広く持ち、区民がゆとりある生活ができるようにしたら、目指す「豊かな里、立山」になり、若者も残り、生活に自信とゆとりを持ち、ロマンの島の一端としての誇りを持つことができるようになると思っている。
そのような、未来の村づくりに夢を持ち「村興し」に励むことを語り合っている。

村づくり
スローガン

二十一世紀へ向けて
「豊かな里、立山の村興し」を

山、砂防、河川改修、海岸保全等国土保全事業を積極的に推進するとともに、急傾斜地、山崩れ、河川氾濫等の危険箇所については、危険区域の見直しを行います。更には、津波や台風、豪雨等の災害に対処できるよう防災行政無線等広報施設の導入を検討し、地域ごとに予報、警報の伝達、避難救助の警戒避難体制を整備します。

②土地の利用開発にあたっては、災害の未然防止の見地から、乱開発の規制を検討するほか、先行的防災工事を指導します。
③電気、火薬、高压ガス等の危険物による特殊災害を防止するため、保安団体の育成強化をはかるとともに、有資格者の養成や、製造、販売業者に対する指導、取り締り、保安の啓発等を促進します。

二、消防力の充実強化
①危険物施設等の増加、多様化する火災に対応して、近代的消防設備や機動力の強化をはかります。
②火災の発生を防ぎ、初期消火を促進するため、広報活動や実地講習会の開催、自主防災組織の設置をはかり、市民の防災意識の高揚と防火知識の普及に努めます。

③交通事故や各種災害の発生に対処した救急救助活動のための救急資材、機材の整備を促進します。
④第三次救急のためのヘリポートを早急に設置し、救急救助体制の確立をはかるとともに、複雑化、多様化する災害に対応しうる高度の専門知識を付与し、その質的向上をはかるための教育訓練等を強化します。



日本・ポルトガル

更に

きずな強く・友情あつく

第21回

種子島鉄砲まつり



「日本とポルトガルの交流に全力を尽くします」
在京ポルトガル大使館参事官 アナ・ヨメス女史

鉄砲伝来を記念した、真夏のビッグ・イベント、種子島鉄砲まつりが七月二十一日、二十二日、盛大に開催されました。

今年、二十一回目を迎えた鉄砲まつりには、駐日ポルトガル共和国代理大使アナ・ゴメス女史をはじめ、同国領マカオからは帆船マカウ号やフ・コン舞踊団が親善訪問し、マカオ展「ポルトガル・日本史の舞台」も開催（マカオ教育司主催）。また、友好都市の大阪府堺市、滋賀県長浜市の両市からは火縄銃砲隊の参加をいただくなど、日本、ポルトガル交流の地にふさわしい、国際色いっぱいの祭りとなりました。

二十一日の式典でアナ・ゴメス代理大使は「この伝統行事は、日本、ポルトガル両国の強い絆と友情を思い起こさせてくれます。異文化を尊重しあい、二つの民族の出会いを祝う鉄砲まつりは平和の尊さを教えているようです」と初来島の印象を語り、「未来の日本、ポルトガル交流のために尽くします」と結びました。

今年の鉄砲まつりは、期間中天候に恵まれたこともあった。

て、パレード沿道、鉄砲船競り舟大会、演芸大会など各会場、家族連れで賑わいを見せていました。また、フ・コン舞踊団員（十四歳〜十八歳）と地元高校生そしてホームステイ協力者との市民レベルでの国際交流が展開されたことも、今回の鉄砲まつりの大きな特徴でした。

「昔は武器、今回は心だけを積んで種子島を訪れた（マカウ号艦長）」「心の交流はまさしく、国際交流の基（榎本市長）」「種子島の素晴らしい、過去と未来のハーモニー（代理大使）」「フ・コン舞踊団の舞台上に異文化の交流を体験し、その躍動感、明るい笑顔に感動しました。（納曾・主婦）」「海外に友だちがほしかったので挑戦しました（ボランティアの種子高校生）」などの言葉が今回の祭りを象徴しているようです。

第二十一回種子島鉄砲まつりに参加、協力、そして声援観覧いただきました皆さん、大変ご苦労さまでした。



さん（市体育館）

「鉄砲まつりを陰で支えた皆さん」につ



火縄銃射（種子島火縄銃保存会）



ベニシリョウシヨウキョウ（高校生バンド）



左からミス種子島、マカオ文化学会ジョゼ・アマラル氏、エンゼル堺の皆さん

'90ミズ種子島

種子島観光連絡協議会が募集していた'90ミズ種子島が決定し七月五日、ホテル大和にて認定証が授与されました。

ミズ種子島の三人はこれから一年間、種子島のPR活動にあたります。よろしくお願いします。

'90ミズ種子島（写真左の三人）
西之表市（左から三番目）

河内 恵子さん（河内建設）

中種子町（左から二番目）

山田真理子さん（中種子町役場）

南種子町（いちばん左）

八汐 恵子さん（八汐回漕店）

THE 21ST. TANEGASHIMA TEPPO FESTIVAL



フ・コン(マカオ) 舞踊団発表会 (市民会館)



勇壮な太鼓山



国友鉄砲研究会



種子島鉄砲船競り船大会



榕城中学校吹奏楽



▲マカオ教育司派遣の9人とホームステイ受け入れ家族の



劇「鉄砲伝来・わかさ物語」を演ずるマカオの青年



帆船マカウ号と漁船パレード



南蛮行列



この人にSPOT

'89キヌサヤ販売実績1,000万円

日高三男さん(40) ㊟ハツエ ㊟ツヤ子
㊟裕一, 修, 美喜男, 俊也



(安納園芸振興会長)

昭和44年, 種子島実業高校農業科卒業と同時に農業に就き, 21歳から園芸(オレンジエンドウ)に取り組んだ。

現在, キヌサヤ50a, サトイモ10a, 早掘バレイショ10a, ゴボウ10a, 超早掘カンショ10a, 普通作カンショ150a(夏作), 水田60aといった経営内容。

労力と収益性の面から園芸を営農の柱にしているが, 今でも恐ろしいのは, 霜害や強風など自然災害。しかし, 畑かん事業で水利用が可能になったことから, 自然災害に割と対処できるようになり, 気持ち的にも楽になった。

今後は, 新農業構造改善事業等によって水を高度に利用した連棟ハウスなどの導入についても検討しなければならないだろう。これからも, 経営の中心は, やっぱり園芸です。



8月は「道路をまもる月間」

中割生姜山の永井豊盛さん(七十七歳)は、道路の美化活動を開始してから十二年。今では、道の土手払いから空力ン拾いまで。皆さんも、道路にやさしく、思いやりを!!

落花生豆腐

市食生活改善推進員 日高ヒデ子(安納, 下郷)

涼しく
まろやか



<作り方>

- ① 落花生は, 前日より水につけ, 渋皮を取り, よくつぶす。
 - ② ①に分量の水を加えてしぼり, 白い液をつくり, でん粉を入れてとかす。
 - ③ ②をなべに入れ, 火にかけ(中火), でん粉が固まらないように注意しながらかきまぜる。
 - ④ 透明になって固まってきたら, とう火でゆっくり練り上げ, 流し箱で固める。
- ※ たれは, ショウガ正油, 落花生正油でもおいしいです。

材
料

1. 落花生 カップ1
2. でん粉 " 1
3. 水 カップ4~5

た
れ

1. 梅干 1コ
2. しょう油 大さじ2
3. みりん " 1
4. さとう " 1

郷土料理の一品として欠かせない料理です。特に, 葬祭時や, お盆の15日の昼にお供えます。

夏は, 冷蔵庫に入れて冷やして食べると, まろやかで格別です。食卓に涼しさと呼ぶ「落花生豆腐」。作り方は, いたって簡単。あなたの手作りメニューの1つに加えてみてはいかがでしょうか

波石小福油山下佐鎌中中南森安鮫石和羽羽
江花川永田下藤倉村目 樂島橋田島島 出生
野祐彩直昌志拓啓沙純じ将亜彩将し敏と大た康友友
太佳か也恭し織也介理り子と平い弥香大た希平い加紀き 児

裕新芳和広 孝純章勝浩友浩繁信 末末保
二二久雅志 久雄彦之郎康平敏行 寿幸幸 護者
野松松松鴨美洲浜野若若今年松池洲遼美美
首島島島町 浜之崎 脇首宮宮 川島野崎泊 浜町 住所

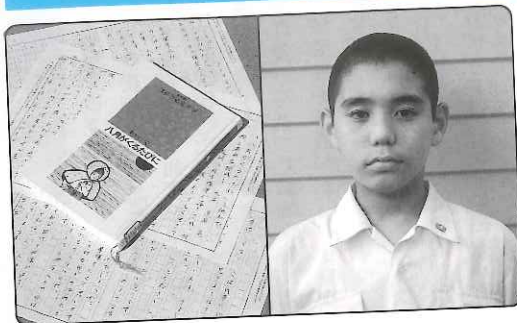
おめでとう

交通事故発生状況

平成2年7月15日現在(対前年同月比)
※死者傷者とも発生場所での件数です

区 分	発生件数	死 者	傷 者
西之表市	30(+2)	0(-1)	37(-3)
中種子町	11(-5)	0(±0)	13(-7)
南種子町	10(-3)	0(±0)	14(+1)
計	51(-6)	0(-1)	64(-9)

- 世界の傑作えほん 1～30巻ナイトブック他 稲垣美晴他
 ○おはなし 愛の学校 1～16巻
 青のぼらの木他 北川幸比古他
 ○思春期の峠を登る子ら 子どもが変わるとき 森川 紘一
 ○化粧品の秘密 郡司 篤孝
 ○強い子供に育てる栄養と食物 川島 四郎
 ○松下幸之助「21世紀への遺言」 上之郷利昭
 ○気ままなひとり暮らし 池田 葉子
 ○柳田兵庫助 津本 陽
 ○ふたり 赤川 次郎



「八月がくるたびに」を読んで

榕城小学校六年

（現在、鹿児島市立明和中学校一年）

黒岩

亮

この本は、長崎に原子爆弾が落とされ、何もかも灰になった中で強くたくましく生きていく兄妹を主人公とした話です。

空しゅうで外に出られず、たいくつな日々をおくっていたきぬえに、とつ然ものすごい光と爆風の原子爆弾がおそいかかったのです。

この一瞬で、辺り一面焼け野が原になった時、人々は、ぼう然として、どんなにむなしい気持ちになったことでしょう。建物や自然がすべて消えてしまった中で、生きていく希望を失なったと思います。

右手と首筋にやけどをおったきぬえは、入院して、母の死を知ったけどなみだ一つぶながさないの不思議に思いましたが、それは必死にこらえていたのです。まだ五歳というのに、とてもがまん強い子だなあと感心しました。しかも、きぬえは何度もケロイドをとる手術をして痛い目にあつてもがんばりぬきました。

母は亡くなり、父は戦争に行つてまだ帰らない、そんな中で兄きよしはきぬえの世話におられます。

いや、つらく悲しい人は、きよしやきぬえだけではありません。

「水をください。水をください。」「家の子を知りませんか。」もう、苦しみの声でいっぱいなのです。

どうして罪のない人々が、このような苦しみをうけなければならぬのでしょうか。

ぼくは戦争、および原爆をにくく思います。戦争など悲さんで、大切な命がうばわれる争いなど、何の解決にもならないのに。

もうどんなつぐないをしても何万人もの命は帰ってこないのです。

これを記念に平和公園に平和像が建てられましたが、本当の平和は一人一人の気持ちにあるのではないのでしょうか。一人一人が、本当の平和というものを考えて努力してい

かないと、本当の幸せというものには決して望めないのです。毎年各地で原水爆禁止大会が行われています。

「原水爆禁止!!」「平和!!」

この八月がくるたびに平和公園は大勢の人で、お祭りさわぎになり、人々の心も高まっています。

世界中の人々が気持ちを一つにして手を取りあつていくことが大切だと思います。

きぬえやきよしを悲しませたような八月九日がやつてこないために。

読書感想文コンクール（市立図書館主催）特選作品より

鉄砲館だより（種子島開発総合センター③3215）

※ 8 月の展示

貝細工展
 たなばた作品展
 夏の山野草木展

8/1～8/31
 8/1～8/18
 8/26～8/30

※ 9 月の展示

種子島鉄砲まつり図画展
 手芸作品展
 カルチャー教室作品展

9/1～9/30
 9/1～9/29
 9/1～9/29

人口の動き

平成2年7月1日現在（前月比）

総数……21,172人（-35）
 男……10,104人（-13）
 女……11,068人（-22）
 世帯数……7,764世帯（-13）
 市の面積……207.43km²

うぶごえ・ごめいふくは
 六月中の受付け分です。

氏名	年齢	住所
谷 幸造	86歳	岳之田
中村 盛義	58歳	久保田
中野 フミ	80歳	川氏
日高シズエ	81歳	壺泊
牧瀬 傳造	83歳	東町
南 ヤス	59歳	上野
八牧 アヤ	79歳	中西
宮原 満義	57歳	久保田
平島 甚次	80歳	立山
中崎 正久	66歳	奥園
濱元 重範	66歳	桜
村田 惣一	82歳	鞍部
西川嘉三太	95歳	武部
長野ツタエ	72歳	里之町
池田ヨシマツ	86歳	城
増元 孝之	55歳	浦田
川村 キワ	86歳	田敷

ごめいふくを
 お祈りします

「からいも交流」の風が吹いた日

濱島祥三郎さん(古田・中之町)より

鹿児島、宮崎両県内の農村で近年、外国人留学生と地域の人たちがふだん着で付き合う「からいも交流」が盛んに行われていることを皆さんご存知でしょうか。

これは、南方圏交流センター(代表:加藤憲一さん)が主催し、アジアと日本の農業交流、そして異文化との触れ合いによって意識改革、地域活性を目指しているものです。

と言っても、そんな堅苦しいものではなく、留学生を数日間、普通の民家に招き、家族の一員として普段の食事を



し、共に農作業で汗を流し、地域の行事にも参加してもらうという「ふだん着の国際交流」です。

今年三月、私たちの古田校区では、この「からいも交流」の留学生受け入れ計画をすすめましたが、留学生の県内割り振りの関係で実現に至りませんでした。しかし、そのお詫びということで、交流センター代表の加藤憲一さんの講演会が浮上し、その実現に向け、榎本孝巳校区長をはじめ区が一丸となって取り組み、六月二十二日、「からいも交流の挑戦」と題した講演会を開催することができました。

会場となった古田中央公民館には農作業を終えた区民や全市内からの方々が開演の午後八時には多数つめかけ、最終的には二〇三名余りのほり、「からいも交流」への関心の高さを示すものとなりました。

加藤さんの講演内容は、経験に基づく自信あふれるもので、しかも親しみやすく、説得力のあるものでした。

「言葉、食べ物、トイレ、風呂、そんなもの全然気にすることはありません。皆さんの日常生活、自然体で受け

入れてもらえば、それでいいのです。それがいいのです。留学生は農村のあるがままの姿、心と心のふれあいを求めているのですから」「異文化の風を感じ、古田の良さを知った時、自信や誇りが生まれてきます。皆さんの足もとを深く掘ってください。そこにはきっと、無限の泉が沸くはずですよ。これが意識改革です」。

集まったおじいちゃん、おばあちゃん、青年達も皆、加藤さんの話を目を輝かせ聞き入り、「そうなんだ。それが大切なんだ」と、これまで探し求めてきた同朋を見つけたかのようにしきりにうなずいていました。この時、きつと、企画した皆さんが「やってよかった」と感じた

のではないかと思います。ところで、古田校区がこの講演会を主催した理由には次のようなことがあります。まず、市で何回となく講演会

が開催されても、なかなか時間とれない。古田校区には他校区に自慢できる素晴らしい公民館があり、そこで、これを生かして、区民がふだん着で気軽に聴ける講演会がほしい。そしてまた、近年、体育施設の充実に伴い社会スポーツ熱が目覚ましく、地域ぐるみで汗を流し合い楽しんでいる様子は大変喜ばしいことですが、それ相様に、文化面も更に感心が高まってほしいと願ったこと。その他、このような地域に住んでいる我々も、もっと多くの生の情報を得て、意識改革を行い、過疎と高齢化が進む地域の活性化をはかるべきだと考えたからです。

「からいも交流」が即、活性化につながらずとも、異文化を持った留学生を古田の方にホームステイしていただくこと、よって何らかの「風」が起り、そこに新しい風土が生

まれることで、次の世代を担う青少年に夢と希望を与えられたらと思うのです。

今年実現しなかった「からいも交流」を来年三月は是非実施し、その輪が、いつの日か市内一円に広がっていくことを心から期待しています。市民の皆様にあたたいご支援をお願いいたします。

古田校区民や有志の方々、そして、ご後援いただいた市教育委員会、記者クラブによって成し遂げられた古田の「からいも交流」への第一歩。

この気運を何としてもお伝えいたしたく、一区民ながらあえて筆を執らせていただきました。ご容赦いただきますよう切にお願いいたします。



散歩道



日・ポ親交公園

が最近イ
メージチェ

ンジを繰り返し、実に魅力的に変身していることは皆さんすでにご承知。それではと、早朝、眠たい目をこすりながら足を運べば、雄々しく朝日を浴びてたつ「海の男の像」。そして、マリーゴールド、サルビアの花、蘇鉄の葉がまぶしくらいに色鮮やか。

この夏、「海の男の像」をバックに旅行客らがしきりにシャッ

ターを切っている。公園で遊ぶ地元の家族もよく見かける。

会社創立50周年記念に公園を整備した米盛建設㈱、マリーゴールドの苗二千五百本を育てた種子島実業高校。そして、その苗を五百個のプランターに鉢植えした市観光青年部、市商工会、同婦人部、市青年団、自営者クラブ。

皆さんの汗と土にまみれた姿を見てか「海の男の像」も何かしらニッコリ。(編集室)

西乃龍関化粧まわし贈呈募金総額 4,052,510円

ご芳志お礼

西乃龍種子島後援会長

榎本 修

盛夏の候、島民の皆様方におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。

さて、初場所十両での勝越しを機に、本年二月に「西乃龍種子島後援会」を発足し、西乃龍関が精進を重ね、種子島を全国に知らしめるような立派な力士に成長できますよう心からご期待し、化粧まわしを贈呈することになり過ぎ日、募金を全島にお呼びかけしましたところ、多くの皆様

金糸・銀糸で見事に昇龍が描かれた西乃龍関の新しい化粧まわし。
デザイン：高石卓容さん
(国上中目・前市教育委員会社会教育課長)



方の暖かいご芳志を賜り、立派な化粧まわしを贈ることができました。心から感謝を申し上げます。

この化粧まわしは、黒地に金糸銀糸で昇龍が描かれており、右手に握んだ金星は、西乃龍の「西」と西之表市出身を表わし、波頭と飛沫十四個は、十五勝の白星を積み重ねる強い願望が込められており、左手の爪には、一度まわしを取ったら相手を倒すまで放さない鉄の意志があらわれています。

この化粧まわし贈呈事業に寄せられた島民の皆様方の募金総額は四〇五万二五一〇円で、その支出状況は、化粧まわし製作費三五〇万円、贈呈祝儀一〇万円、星取表製作費など諸経費九万四三〇二円、計三六九万四三〇二円であり、余剰金三五万八二〇八円が生じました。これにつきましては、今後の後援会活動費として大切に使用させていただきますと存じます。

最後に、今般の化粧まわし贈呈の儀に寄せられました島民の皆様方のご厚情に対し、重ねて衷心よりお礼を申し上げますとともに、今後とも、西乃龍関への変らぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成二年七月吉日

(国上・公保田公民館にて)

保育所入所を希望する方へ

平成2年10月1日から平成3年3月31日までの
保育所入所希望者の受付を次の日程で行います。

受付(面接)場所	受付(面接)日時
国上保育園	8月24日(金)午前9時半～午後2時
現和区長事務所	8月27日(月)午前9時半～午後2時
市福祉事務所	8月28・29日 午前9時～午後4時
住吉中之町公民館	8月30日(木)午前9時半～午後2時
安納区長事務所	8月31日(金)午前9時半～午後2時
安城保育園	9月3日(月)午前9時半～午前10時半
古田保育園	9月3日(月)午後1時～午後2時
伊関保育園	9月3日(月)午後3時～午後4時

※受付時に面接をしますので、子供や家庭の状況等に詳しい方がおこしください。

※上記の日時に都合の悪い方は、9月10日から9月12日までに市福祉事務所においでください。

(注) 保育園は、その児童の保護者のなかでも特に母親が就労、病人等の看護を日中常態としているため、その児童の保育にあたれず、かつ同居者がその児童の保育にあたることができない場合、保護者にかわって日々保育する児童福祉施設です。

※入所方法など詳しくは、市福祉事務所児童係
(②-1111内線252) および各保育園まで

新規学卒者の 求人受付

求人受付

新規学卒者を対象にした職業紹介業務が次のように始まりました。

例年、地元求人の出足が遅いため、相当数の地元就職希望者が県外就職を余儀なくしています。若い労働力を確保し、企業の活性化を図っていただくためにも、早期の採用計画を樹ていただき、早めに求人申し込みをお願いいたします。

たします。

▽求人への受付

(中学・高校) 6月20日から

▽生徒への求人票提示

(高校) 7月1日から

▽推薦 (高校) 9月5日から

▽選考 (高校) 12月20日から

(中学) 9月16日から

▽問合せ先：熊毛公共職業安定所(☎二一三一一八)

定所(☎二一三一一八)

ふるさと人材相談室

ふるさと人材相談室は、県

外で働く県出身者のＵターン希望技術者を県内の企業へ就職あっ旋を行う県の機関です。昭和六十三年、鹿児島県人材銀行をキーステーションとして、東京、名古屋、大阪の各県事務所に相談窓口を開設し三年目を迎えました。四月末現在すでに一〇八人の方がＵターンし県内企業へ就職しており、また、求人募集のある企業の登録は三四七社にのほっています。手続きは簡単で、いっさい費用はいりません。また相談

6月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 186.9トン		島内産 93.2トン(49.9%)	
		島外産 93.7トン(50.1%)	
取引額 3,165万円		島内産 1,354万円(42.8%)	
		島外産 1,811万円(57.2%)	
種 類	入荷量トン	取引額千円	単価円/kg
島内野菜類	根 菜 類	13.1	561
	葉 茎 菜 類	16.7	2,003
	果 菜 類	31.0	2,712
	そ の 他	16.9	3,093
	小 計	77.7	8,369
島内果実類	ス イ カ	8.8	1,572
	す も も	1.3	271
	そ の 他	4.0	730
	小 計	14.1	2,573
島内産花類・鶏卵・加工品・その他		1.4	2,598
			1,860

◎6月の特徴……主な島内産果実はスイカ、スモモ、メロンで、花は大・小菊、アスターでした。

◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用下さい。

ジェットfoil「トッピー」ドック入り

ジェットfoil「トッピー」がエンジン乗せ替えのため、次の期間ドック入りします。ご協力をお願いいたします。

○ドック期間…平成2年9月4日～9月7日(4日間)

○代 替 船…第二屋久島丸(運航時刻)

西之表

鹿児島

宮之浦

(奇数日) ⑨9:00→⑩12:30⑪14:00→⑫18:00

(偶数日) ⑬17:30←⑭14:00⑮12:30←⑯8:30

この夏もお願いします!! 献血

昨年度は、種子島地区で3,221本(200cc換算)の貴重な献血をいただきました。誠に有難うございました。

この夏も、次の日程で献血が行われますので、どうぞよろしくお願いいたします。

8月22日(水) 8:00～16:00 西之表市民会館

23日(木) " "

24日(金) " "

25日(土) " サンシード前

お し ら せ

内容などは他にもらすようなことはありませんので、安心してご利用ください。

▽問合せ先：鹿児島人材銀行
ふるさと人材相談室（千八九二 鹿児島市新屋敷町一六一四二一 公社ビル四二二）
☎〇九二二二七五五五二
二三一二〇三二

原爆死没者の慰霊 平和祈念の黙とうを

来る八月六日（月）は広島市に、また八月九日（木）は長崎市に原子爆弾が投下されて四十五周年に当たります。

広島市および長崎市では、当日、内閣総理大臣並びに衆参両院議長等が出席し原爆被爆四十五周年の慰霊および平和祈念の式典が行われ、広島市においては原爆が投下された八月六日午前八時十五分、長崎市においては八月九日午前十一時二分から平和の鐘を合図に一分間の黙とうが捧げられます。

それぞれのご家庭、職場、地域におかれても、原爆で死没された人々の冥福と恒久の平和を念願して、敬けんな黙

とうを捧げられますようお願いいたします。

防火管理講習会

防火管理者を必要とする対象物を有する方で、新たに資格を取得したい方は、次の日程で防火管理講習会が開催されますので受講して下さい。

▽日時：八月二十一（火）・二十二（水）午前九時から午後五時まで

▽会場：熊毛地区消防組合西之表消防署大会議室

▽問合せ先：熊毛地区消防組合消防本部予防課③一四一九九

大工賃金が一万二千元に

市建築技能者組合では平成二年四月一日から大工賃を一日一万二千元（旧：一万元）に決定いたしました。市民皆様のご了承とご協力をお願いいたします。

▽問合せ先：市建築技能者組合（代表：小倉操⑤一〇六六四）

おわび

本紙七月号十三頁に次の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
（誤）中島啓子さん
（正）中島啓子さん

8月31日(金)は市県民税2期分の納期限です。期日までに納付をお願いします。

平成2年	休日在宅医		休日営業スタンド			
8月5日 (日)	河内医院 納曾②0704	中目医院 野首③0350	種子島石油 東町②1345	徳永石油店 安城③7379	一口石油店 安納⑤1111	
12日 (日)	吉田医院 中目③2401	田上(眼)医院 東町②0250	三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田⑧0291	向江商店 安納⑤1147
14日 お盆(火)	松崎医院 西町③2455	城西医院 中目②0243	全店休業			
15日 お盆(水)	田上病院 松畠②0960		午前中全店営業			
19日 (日)	池田医院 天神町②0260		種子島石油 鴨女町②1347	鯨島石油店 現和⑤0005	有馬石油店 安納⑤1103	
26日 (日)	河内医院 納曾②0704	中目医院 野首③0350	市農協第3 松畠③0128	中村石油店 現和⑤0021	江口石油店 国上⑧0808	
9月2日 (日)	吉田医院 中目③2401	田上(眼)医院 東町②0250	有馬石油店 西町②0121	瀬下石油店 住吉③3836	川添商店 現和⑤0906	水口石油店 国上⑧0007
9日 (日)	松崎医院 西町③2455	城西医院 中目②0243	種子島石油 東町②1345	徳永石油店 安城③7379	一口石油店 安納⑤1111	
15日 敬老の日(土)	田上病院 松畠②0960		全店営業			
16日 (日)	池田医院 天神町②0260		三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田⑧0291	向江商店 安納⑤1147
23日 秋分の日(日)	河内医院 納曾②0704	中目医院 野首③0350	種子島石油 鴨女町②1347	鯨島石油店 現和⑤0005	有馬石油店 安納⑤1103	
24日 振替休日(月)	吉田医院 中目③2401	田上(眼)医院 東町②0250	全店営業			
30日 (日)	松崎医院 西町③2455	城西医院 中目②0243	市農協第1 川迎②0543	中村石油店 現和⑤0021	江口石油店 国上⑧0808	

第21回 種子島鉄砲まつり

